

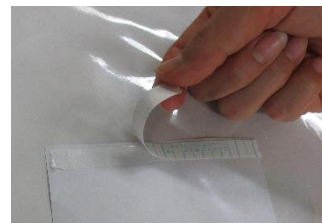
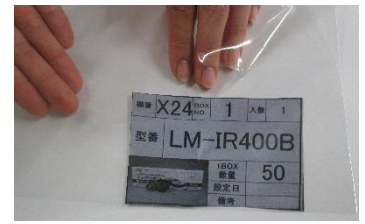
K株式会社様は、主に電設資材や工具などの物流を行っています(従業員数103名)。今回、K株式会社様の物流センターにて、商品棚表示ラベル作成用途にビーポップCPM-200を導入頂き、**作業を大幅に効率化**されています。

CPM-200導入前



作成手順

- ①商品の写真撮影
- ②表計算ソフトでひな形を作成
- ③プリンターで印刷
- ④ハサミで手切り
- ⑤透明のOPP袋に差し込み
- ⑥シーラーで封を綴じる
- ⑦両面テープで貼り付け



表示の必要性

上記の表示を始める前は、テープ作成機や手書きで表示をしていました。しかし、ピッキング時に商品を棚に戻す際に間違いが多く発生している為、防止策として、こちらの物流センター様では写真入りのわかり易い表示を行うことになりました。

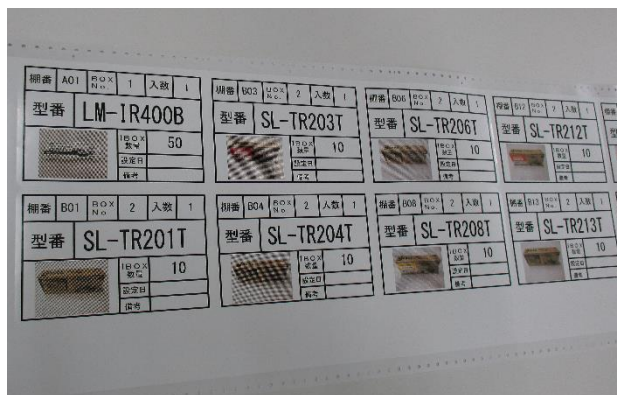
抱えていた問題点

表示ラベルを作る①～⑦の作成手順はとても手間がかかる！
20アイテム分を作成するために、半日以上もかかっていました。
さらに、表示を作成する専任者はいないため、購買課のK主任が通常業務の片手間で作業を行っています。その為、作成を始めてから1年ほど経ちましたが、物流センター内の2000アイテム中、まだ100アイテム程度しか完了していません。



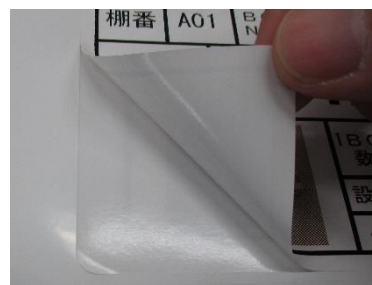
CPM-200導入後

CPM-200で作成したラベル



作成手順

- ①商品の写真撮影
- ②『Bepop PC EX』でひな形を作成
- ③CPM-200でプリント&カット
- ④貼る



導入効果（導入前と導入後の比較）

	撮影・ひな形作成時間(20枚)	撮影・ひな形作成時間(2000枚)	導入効果
導入前	4時間	400時間	▲316時間40分
導入後	50分※	83時間20分	

※写真撮影:10分+レイアウト作成:12分30秒+写真取込:20分+印刷&カット:7分30秒 で計算しています
 ※1枚コスト…22.8円 導入後のコスト計算は面積ベースで計算しています

導入効果まとめ

- ① ご要望サイズのラベルを作成でき、316時間40分の効率化を実現しました。
- ② 手持ちデータとの連動でラベルのレイアウトを作成。今まで1つ1つ表計算ソフトで作成していた煩わしさが解消されました。
- ③ ビーポップはシートに直接プリント&カットしますので、完成したら後は貼るだけ。シーラーや手切り作業が無くなりました



ビーポップ
CPM-200

「CPM-200で表示の入れ替えが進んでいけば、ピッキング時の戻し間違いが減りそうです。ビーポップのラベルは丈夫そうなので将来の作り直しの手間も無くなりそうですね。いずれは商品管理の効率化に合わせ、バーコードを入れたラベルを作りたいです。」(同 K主任談)

